

「障害者雇用」に取り組む上で弊社が大切にしていることは、情報の共有・連携と、当事者が働く「現場」でのサポートです。例えばヤマトグループでは、3ヶ月に1回、全国の事業所の障害者雇用推進員がオンラインで会合を開き、好事例の共有や情報交換を行っています。また、就労支援センターと連携し、専門家のアドバイスを受けるなど、社内だけではなく外部の力も借りながら職場環境の調整を進めています。さらに各事業所では、アンケートをとって業務の際に困り事がないかを確認し、当事者の皆さんと直接向き合いながら課題の洗い出しや解決策の提案を行っています。

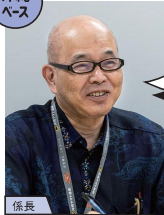
障害のある方は業務内容を把握するまでに少し時間を要することがありますが、一度作業手順を身につけると抜群の集中力と実直な姿勢で仕事に打ち込んでくれるため、大切な戦力として活躍してくれます。入職後、一歩ずつ成長していき姿は大変頼もしく、共に働くことで見えてくる喜びがあります。多様な人材が生きて働く職場づくりは、これからの社会において必要不可欠です。私たち「沖縄ヤマト運輸株式会社」は、障害者雇用を通じて地域に貢献するとともに、持続的に発展していく企業でありたいと考えています。



環境整備を推進

情報共有や対話を大切に

沖縄ベース



係長 富山 孝之 さん

仲間からのMessage 1

具体的な指示をすることで作業がスムーズになります

指導の際はまずはやって見せて、その後で具体的な指示を出すようにしています。経験を重ねて本人のスキルが上がるので、作業の幅も広がるため、自信ややる気につながっていくのではないかと感じます。

糸満ロジセンター



センター長 真栄城 玄亮 さん

仲間からのMessage 2

一人ひとりの「得意」にフォーカスした業務分担を

皆さん非常に真面目で、作業に対する集中力は目を見張るものがあります。人によってはタスクの切り出しを行い、本人の得意なことをのびせていけるような業務分担を心がけています。

働く人の声

当事者 Voice 1

集中して業務に取り組み安心して働ける職場です

荷物を機械に流し込む作業を担当しています。体力を使いますが、得意な作業なので集中して取り組んでいます。相談しやすい環境で安心して働けるため、これからも頑張りたいです。



勤続年数1年半 指定 赤コン代用 稲留 颯希 さん

当事者 Voice 2

日々改善点を考えながら仕事に取り組んでいます

主に通販商品の仕分け・梱包を担当しており、日頃から効率の良い方法を探しながら作業をしています。今後は不得意なことにも積極的に挑戦したいと考えています。



勤続年数4年 糸満ロジセンター 川原 宏太 さん

障害者雇用を実現するために大切にしている 3つのPOINT

POINT 1

「就労体験」の機会提供

就労希望者が業務内容を具体的にイメージできるよう、事前に「就労体験」を行い、当事者の方の不安を軽減しています。

POINT 2

各拠点への柔軟な人員配置

県内に約35ヶ所の拠点を有しているため、他事業所での受け入れなど、人員配置に関して出来るだけ柔軟な対応を心がけています。

POINT 3

本社へのレポートで情報を共有

各事業所での対応が難しい困り事に関しては、本社で情報を共有し、当事者に寄り添ったケアができるように配慮しています。

私たちの
お仕事
内容



ピッキング(品出し)



商品の封入や梱包



宅急便の仕分け



沖縄ヤマト運輸



01
障害者雇用
応援企業紹介

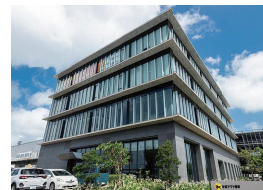


沖縄ヤマト運輸

●雇用数:35名(全従業員1,364名中) ●障害をもった社員の内訳:男性25名、女性10名 ●障害区分:身体障害、知的障害、精神障害 ●障害者雇用率:2.9%(法定雇用率2.7% ※令和8年7月時点)

社会参加を目指して

障害がある方の自立と



<本社>
沖縄県糸満市西崎町4-21-3

TEL 098-840-3580

FAX 098-992-0641



「沖縄ヤマト運輸株式会社」はヤマトグループの一員として、沖縄エリアの地理的環境に寄り添う先進的な物流ネットワークを展開しています。グループ全体に息づく「心身に障害のある人々の「自立」と「社会参加」を支援する」という理念の下、弊社でも障害者雇用を積極的に推進しています。

現在、本社をはじめ県内各地の事業所においてさまざまな障害をもった方が仲間として共に働いています。本社がある糸満市では、倉庫内でのロジスティクス業務や荷物の仕分け業務、また事務所でのパソコン入力や帳票整理などで活躍しています。なかには契約社員から正社員に登用された障害のある方もおり、私たちも日頃から当事者の皆さんのやる気と成長を実感しています。

採用のルートとしては、就労支援センターや特別支援学校からの紹介や、ハローワークの求人にて応募される方など様々ですが、お仕事体験会への参加やインターンなどの「就労体験」を通して会社の雰囲気を感じてもらい、業務内容を理解していただいた上で入職

れる方が多いです。私たちとしても現場でのサポート体制を把握するために、入職前の就労体験を重要なステップとして捉えています。さらに、障害をもった方の配属先には「障害者職業生活相談員」を配置し、環境整備や当事者のサポートなど、コミュニケーション機会を大切にする風土づくりを行っています。

障害をもった方々のなかには、自分から相談をすることが難しい方もいるため、毎日の挨拶をはじめ、現場での作業手順や体調の確認を大切に話しやすい雰囲気をつくり、社員同士でフォローし合ったり、当事者の皆さんが働きたい環境をつくっています。また、県内全域に複数の事業所があることから、希望する勤務地や業務内容に沿えない場合でも、近隣の事業所での受け入れを検討するなど、可能な限り柔軟な対応を心がけています。

企業としても、障害をもった方が業務に取り組むやすいように、業務の流れを根本的に見直す機会が増えました。それによって、既存の業務工程が改善されることが多々あります。例えばロジスティクス業務では作業ごとに手順書を作成しますが、簡潔な言葉で文書化して、障害者の有無に関わらず理解しやすい表記に変更しました。誰もが働きたい環境を整えることで、結果的にミスが減ったり、生産性の向上につながるなど、「障害者雇用」をきっかけとして、働く側にとっても雇用する側にとっても、それぞれに良い影響を及ぼしている実感しています。



人事総務課 マネージャー 幸地 朝美 さん